氷見交友会館だより

2024（令和6）年　**2月号**　電話/FAX　0897-57-7248

こどものちから

「大型小売店」、大きいのか、小さいのか分からない店です。その大型小売店に行って、買いたいものを探しても見つからない場合はどうしますか。店の人を捕まえて「どこ？」とたずねますか。私は、知らない人に話しかけることができない、専門用語でいうと「人見知り」（「今さら何を言う、さっさと本題に入らんか。」という声が聞こえてきそうです。）のため、そういう大胆なことはできません。ですから、店内をぐるぐる、ぐるぐると回って探し続けます。そのうち、買う予定のない別の商品に興味をひかれ、立ち止まって品定めをする、ふと我に返ったときは、いったい何を買いに来たのか思い出せない、なんていうことになるのです。そういった経験は、私だけではないでしょう。あっ、書こうと思ったことからずれました。「店内をぐるぐる」のところまで戻ります。ぐるぐると回って目的の品物がある棚を見付け、そこでまた迷うのです。品物があまりに多過ぎて、どれがよいか悩んでしまうのです。

さて、本論に入ることを宣言します。とある小学校の昼休みの運動場、6年生数名がサッカーゴール前でサッカーをしていました。反対側では、4年生数名がサッカーボールをけり合っています。私は、というと、運動場のはじっこにある高鉄棒にぶら下がって、筋力トレーニング中でした。昼休みは、子どもたちの遊ぶ様子をいつも見ていました。しばらくして、4年生が、1名を残して6年生グループに合流しました。人数が増えたのでサッカーのゲームが始まるなあと思いました。が、始まったのは、言い争いです。運動場の真ん中で、足でボールを踏みつけている6年生のタケル（仮名）君と他の6年生や4年生が彼を取り囲むといった陣形でした。10分ほど言い争いが続き、その間陣形は変わりません。鉄棒にぶら下がっていた私は、子ども同士で話合いのけりをつけることができるだろうと、取っ組み合いなどの喧嘩にならない限りは、仲裁をしまい、と固く固く決心して見守ることにしました。決心が固まったそのとき、タケル君以外の6年生が私のところに来て「曽我部先生、ボールを放さないタケル君を説得してください。タケル君は、向こうで一人残っているワタル（仮名）君が一緒にサッカーしないとボールを渡さないといって聞かないんです。ワタル君は、サッカーしたくないって言ってるのに。」ということでした。先ほどの決意をすっかり忘れ、運動場中央に行きタケル君にボールを放すよう説得しました。すると、タケル君は、「曽我部先生は、いつも言っとるやろ、仲間はずしは絶対にしたらいかん、て。僕がボールを放したら、ワタル君を僕らが仲間はずしにしたことになるやろ。だって、ワタル君は最初4年生と一緒にサッカーしていたんだから。ワタル君からその4年生を6年生が取り上げることになるやろ。」、私「本人がやりたくないって言ってるんだから、無理強いしたらいかん。」、タケル君「やりたいはず、だってさっきまでサッカーやってたんだか

（※右ページに続く）

ら。やりたくないのは何かわけがあるんよ。それも聞かずに僕らだけではサッカーできん。」、それを聞いた6年生が、ワタル君のところに行ってその「わけ」を聞き出してきました。その「わけ」は、6年生とサッカーしたら、下手な僕には誰もボールを回してくれんから寂しくなる、とのこと。すぐに4年生と6年生が、その問題をどうすればよいか話し合いました。その途中私は、再び高鉄棒に戻り、彼らの様子を遠くから見守りました。話合いが終わり、4年生がワタル君のところに走って行って、何か言っています。明るい顔をしたワタル君が、4年生と一緒に運動場の真ん中に走っていき、チーム分けが始まりました。そのあとゲームが始まろうとしたとき昼休み終わりのチャイムが鳴りました。6年生が私のところにやってきて、「6年生がパスできるのは、4年生だけ、4年生全員にパスが回ったら1本シュートが打てる、これならワタル君に必ずボールが回るやろ。」と誇らしげに話してくれました。それから、昼休みになると、そのメンバーが集まってサッカーのゲームを楽しんでいました。6年生からするとまどろっこしいルールで楽しいのか、と私は思いました。日を追うごとに、パス回しが早くなり、全員の技術が上がっていくのが分かりました。個人プレーよりチームプレーの面白さを知った彼らには、もうあのルールは必要がなくなりました。その子たちがいつもあまりにも楽しそうにしているので、他の子どもたちも「よせて。」と言って加えてもらっていました。上学年の子どもは、下学年の子どもに目配りを忘れず、ボールを回していました。

あのとき、6年生のタケル君には、選択肢は2つしかなかったのです。その選択肢は「ワタル君を仲間外しにしない」か「でなければ、サッカーをしない。」です。単純明快で迷うことはないのです。

人間関係にまつわる行動の判断は、「人を尊敬し、大切にする。」か「そうでないか。」という2つの選択肢に絞れば、おのずと自分の行動が決まってくるでしょう。迷いがあるのなら、それはきっと選択肢をたくさんにしてしまい、大型小売店で買うものを決められないように、正しい判断を見失ってしまうのでしょう。差別をするときは、こういうときです。人として何を大切にするべきか、選択肢をすっきりしてみれば、行動に迷いはなくなります。あのタケル君のように。これから、人権を軽んじる選択肢を省き、すっきり判断ができるようなりたいものです。

（館長）

第3回　健康教室　認知症も怖くない！

～ボケない頭をつくる予防対策～

1 月 16 日（火）、済生会西条病院で保健師をされている秋元友絵さんを講師にお迎えし、開催しました。

まず最初に、認知症予防、「コグニサイズ」（国立長寿医療研究センターが作り出した健康プログラムのこと）についてのお話がありました。その後、実際に簡単なストレッチとリズムトレーニングを実践してみました。歌を歌ったり体を動かすことは、いつまでも健康でいるために、とても大切なことだということを学びました。

2月開催の講座のご案内

「相続」についての法律、気になりませんか～？

法律相談講座 を開催します！

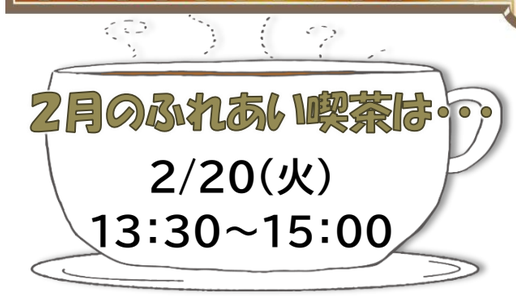
日時 2月15日(木)　13:30～15:00

会場 氷見交友会館　会議室

内容 身近な法律相談 「相続について」

講師 村上（むらかみ） 和也（かずや） 弁護士

昨年度参加された方から、「講座に参加してよかった。新しく変わった法律を知ったおかげで、とても役に立った。」と喜んでいただきました。
年に1度、弁護士さんの講話を直に聞ける貴重な講座です。ぜひご参加ください。



講座のお問合せは・・・

氷見交友会館
（☎0897-57-7248） まで

「令和6年能登半島地震災害義援金」募金箱を設置しています

1月1日に発生（はっせい）した石川県能登半島を震源（しんげん）とする地震（じしん）災害（さいがい）により、尊（とうと）い命が奪（うば）われた方々のご冥福（めいふく）をお祈りいたしますとともに、被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

西条市では被災された方々の生活再建に役立てていただくため、右記の場所に募金箱を設置しています。皆様のあたたかいご協力をお願いいたします。

※集まりました義援金は、日本赤十字社に送金いたします。

設置場所	西条市役所　本庁　1階 西部支所　1階 丹原サービスセンター　1階 小松サービスセンター　1階
設置期間 設置時間	令和6年12月20日(金)まで （土･日･祝日を除く） 午前8時30分～午後5時まで

2月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
				1	2 石鎚クラブ 13:30～15:00	3 休館日
4 休館日	5 生き生き健康体操 13:00～ 歌謡教室 13:30～15:30 楽書教室 13:00～16:00	6	7 絵手紙教室 13:30～15:30	8 茶道教室 13:30～15:30	9 書道教室 9:30～11:30 石鎚クラブ 13:30～15:00	10 休館日 人権を考える日
11 休館日 きずなの会 10:00～ 	12 休館日 	13 健康管理巡回相談 10:00～12:00 裂織サークル 13:00～16:00	14 協力委員会役員会 9:15～9:45 ひまわり会 10:00～11:30	15 **法律相談講座** **13:30～15:00**	16 福寿草(書道) 9:30～11:30 石鎚クラブ 13:30～15:00 華道教室 14:00～15:30	17 休館日
18 休館日	19 歌謡教室 13:00～15:00 楽書教室 13:00～16:00	20 **ふれあい喫茶** **13:30～15:00** 協力委員会総会 19:00～	21 ヨガ教室 13:30～15:00 絵手紙教室 13:30～15:30	22 茶道教室 13:30～15:30	23 休館日 	24 休館日
25 休館日	26	27 裂織サークル 13:00～16:00	28 ひまわり会 10:00～11:30	29		

※会館使用において、**原則、マスクの着用については、各自の判断**とします。手洗い、咳エチケット等、基本的な感染症対策の日常化をお願いします。アルコール消毒液は継続して設置しております。

西条市氷見交友会館

住　所：〒793-0072 西条市氷見乙1722番地

TEL･FAX：**0897－57－7248**

Eメール：himikoyukaikan@saijo-city.jp

開館時間：**9:00～17:00（月～金）**

※ 土曜日、日曜日、国民の祝日、年末年始は閉館しています。

氷見交友会館では、人権、福祉、健康、職業、生活、教育等の各種相談事業を随時行っています。電話、訪問での相談にも対応いたします。

お気軽にご相談ください